

周産期医療に係る現状（統計数値）

1 人口動態

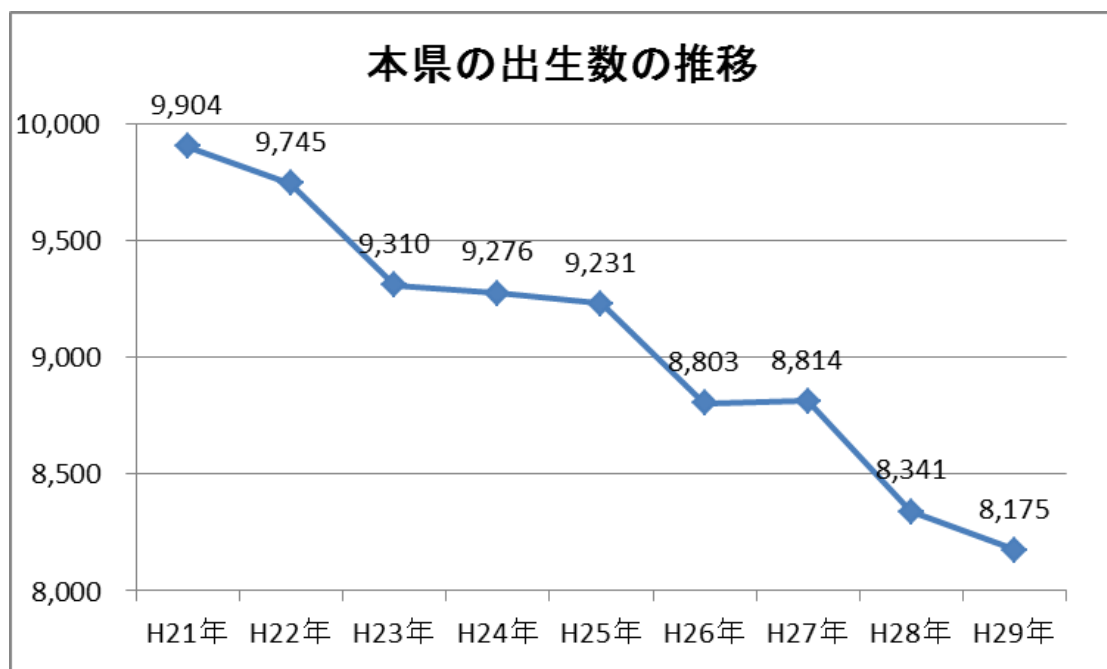
平成 29 年の出生数を平成 21 年と比較すると、約 17%減少しているが、低体重児の割合は増加している。また、母の年齢は 29 歳未満の割合が減少している一方で、35 歳以上が 5.7 ポイント増加している。

また、周産期死亡率は低下傾向にあるが、年によって変動がある。

項目	H21 年	H29 年
出生数	9,904 人	8,175 人
低体重児（2,500g 未満）数（割合）	895 人（9.0%）	796 人（9.7%）
母の年齢		
15～19 歳	136 人（1.3%）	73 人（0.9%）
20～24 歳	1,429 人（14.4%）	915 人（11.2%）
25～29 歳	3,183 人（32.1%）	2,313 人（28.3%）
30～34 歳	3,215 人（32.5%）	2,805 人（34.3%）
35～39 歳	1,677 人（16.9%）	1,678 人（20.5%）
40～44 歳	257 人（2.6%）	373 人（4.6%）
45～49 歳	7 人（0.1%）	18 人（0.2%）
〔35 歳以上計〕	〔1,941 人（19.6%）〕	〔2,069 人（25.3%）〕

（出典：保健福祉年報（岩手県保健福祉部））

○出生数



○低体重児

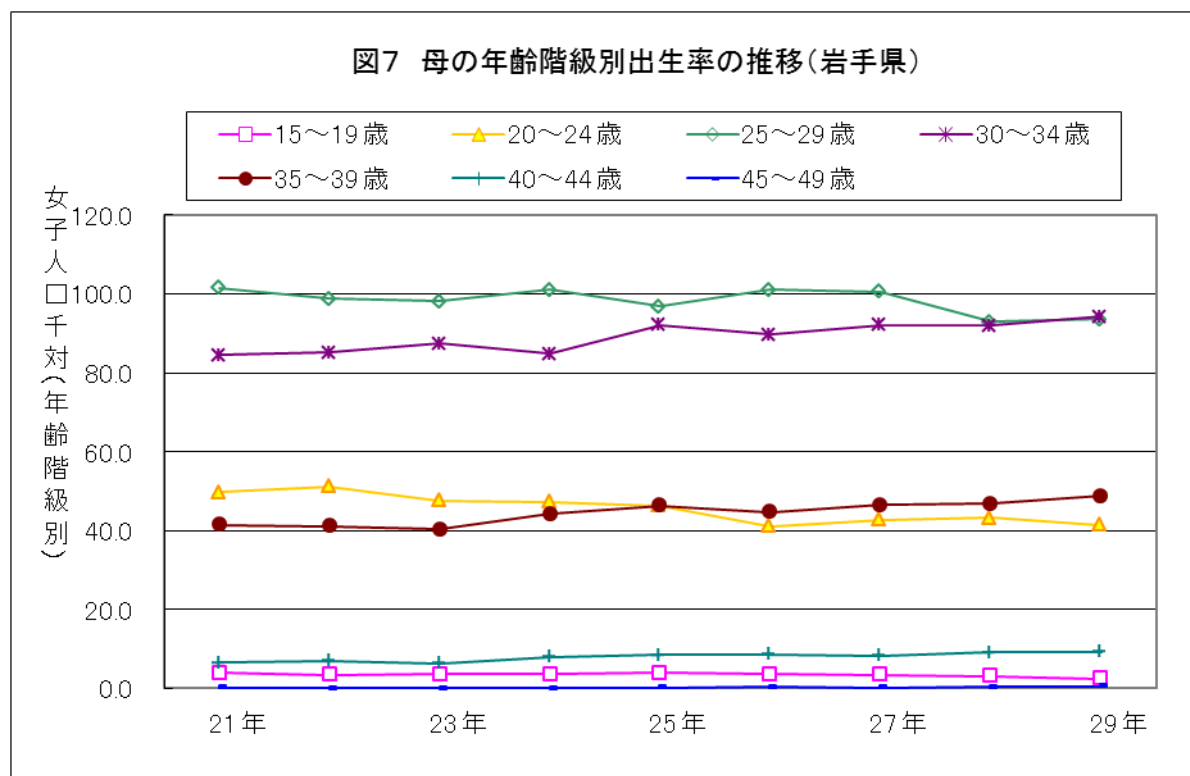
出生時の体重別出生数及び割合の推移

(単位) 人 (%)

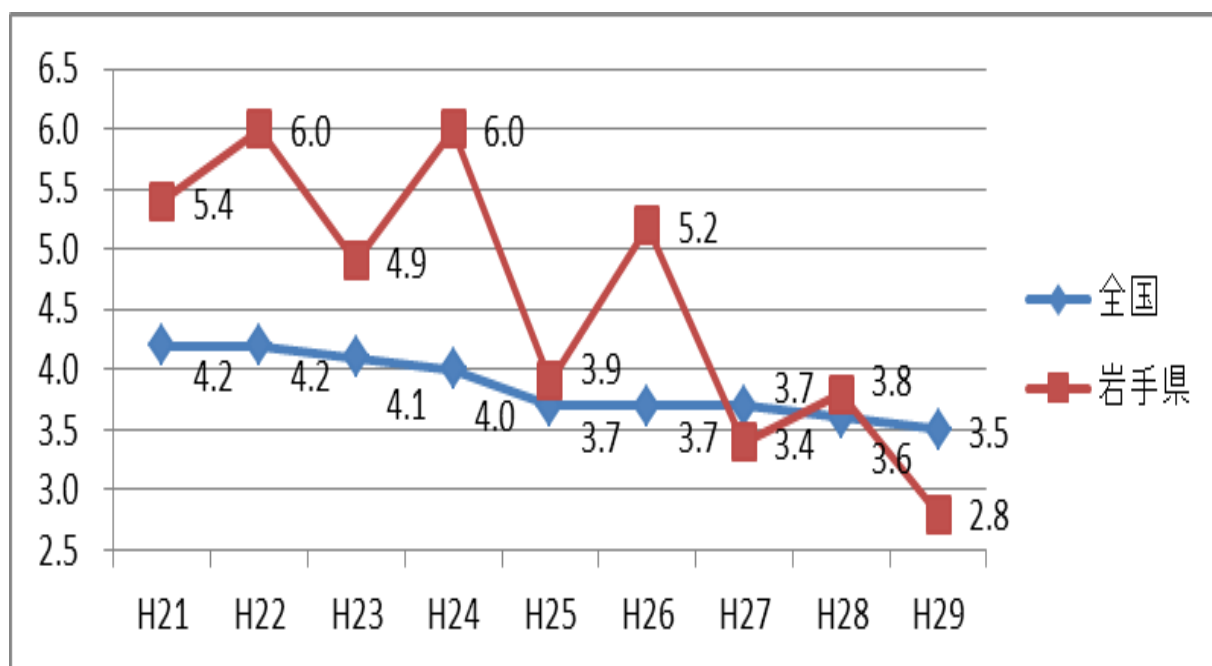
		低出生体重児数					出生数に 対する割合 (B/A) % 岩手県	出生数に 対する割合 % 全国
年	県内出生数 (A)	極低出生体重数		1,500 g ～ 2,000 g 未満	2,000 g ～ 2,500 g 未満	総数 (B)		
		1,000 g 未満	1,000 g ～ 1,500 g 未満					
H21	9,904	36	62	123	674	895	9.0	9.6
H22	9,745	35	46	112	723	916	9.4	9.6
H23	9,310	27	52	105	658	842	9.0	9.6
H24	9,276	32	42	116	673	863	9.3	9.6
H25	9,231	27	40	116	710	893	9.7	9.6
H26	8,803	30	47	121	660	858	9.7	9.5
H27	8,814	29	37	115	629	810	9.2	9.5
H28	8,341	24	44	123	625	816	9.8	9.4
H29	8,175	24	31	102	639	796	9.7	9.4

資料：厚生労働省「人口動態統計」

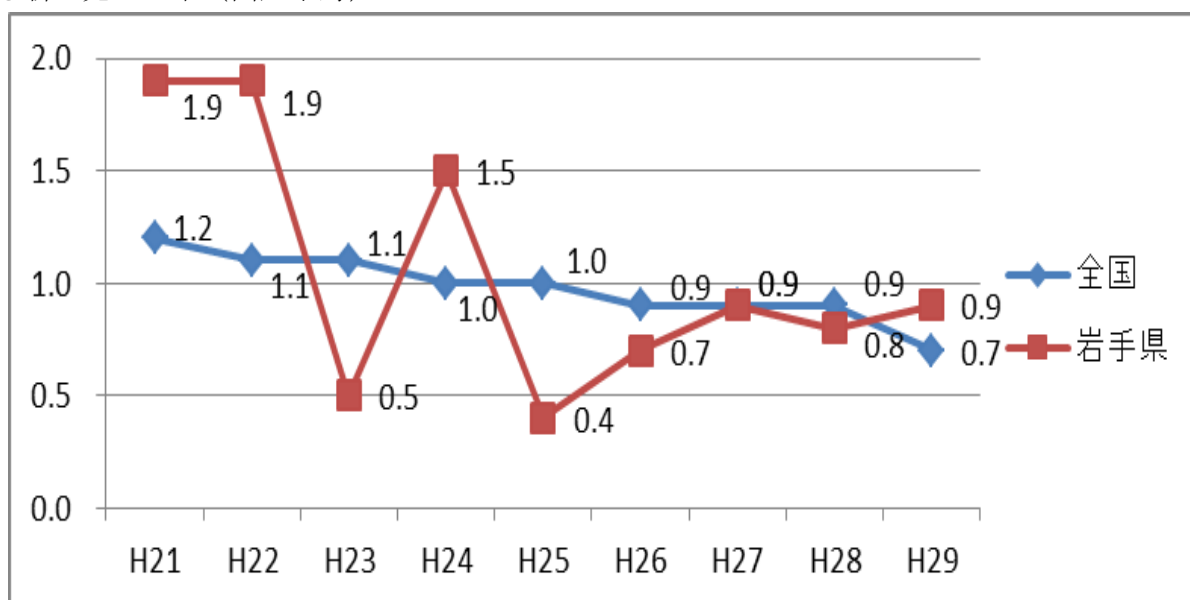
○妊産婦等の状況



○周産期死亡率（出産千対）



○新生児死亡率（出産千対）



2 医師・助産師数

〔小児科医〕

盛岡圏域の割合は増加しているが、県全体としては減少となっている。

(単位：人)

区 分	H24		H26		H28		
	従事者数	15歳未満 人口10万対	従事者数	15歳未満 人口10万対	従事者数	15歳未満 人口10万対	対盛岡 比(%)
全国	16,340	98.7	16,758	103.2	16,937	107.3	79.8
岩手県	143	88.3	141	90.4	138	93.9	69.8
盛岡	79	127.2	79	130.1	78	134.5	100.0
岩手中部	17	57.4	17	59.6	18	66.7	49.6
胆江	10	56.9	9	53.6	8	50.0	37.2
両磐	9	56.0	8	52.7	8	57.1	42.5
気仙	8	110.9	8	119.1	7	116.7	86.8
釜石	4	74.7	5	100.0	4	80.0	59.5
宮古	6	59.1	6	64.5	6	66.7	49.6
久慈	5	64.5	4	55.3	4	57.1	42.5
二戸	5	76.7	5	81.6	5	83.3	69.8

※「対盛岡比」は、H28の盛岡医療圏（15歳未満人口10万対医師数）を100とした場合の比率

(出典：医師、歯科医師、薬剤師調査（厚生労働省）)

〔産婦人科医〕

県全体としては増加しているが、そのほとんどが盛岡圏域での増加となっている。

(単位：人)

区 分	H24		H26		H28		
	従事者数	15～49歳 女子人口 10万対	従事者数	15～49歳 女子人口 10万対	従事者数	15～49歳 女子人口 10万対	対盛岡 比(%)
全国	10,868	40.7	11,085	42.2	10,854	43.6	74.0
岩手県	98	41.0	100	43.1	102	45.5	77.2
盛岡	52	51.7	55	56.1	56	58.9	100.0
岩手中部	11	26.5	10	24.8	12	30.8	52.3
胆江	6	25.3	6	26.1	6	27.3	46.3
両磐	10	46.0	9	43.4	10	50.0	84.9
気仙	5	48.7	5	50.0	5	55.6	94.4
釜石	1	13.3	2	27.6	1	14.3	24.3
宮古	6	43.4	5	37.8	5	38.5	65.4
久慈	2	18.7	2	19.7	1	10.0	17.0
二戸	5	53.6	6	68.0	6	75.0	127.3

※「対盛岡比」は、H28の盛岡医療圏（15～49歳女子人口10万対医師数）を100とした場合の比率

(出典：医師、歯科医師、薬剤師調査（厚生労働省）)

ウ 助産師数

県全体として増加しているが、そのほとんどが盛岡圏域での増加となっている。

(単位：人)

区 分	H24	H26	H28
全国	31,835	33,956	35,774
岩手県	349	370	389
盛岡	149	184	193
岩手中部	56	46	53
胆江	13	12	12
両磐	30	33	32
気仙	19	23	23
釜石	19	15	17
宮古	23	21	23
久慈	19	14	13
二戸	21	22	23

(出典：衛生行政報告例（厚生労働省）)

3 分娩取扱医療機関数

病院は1施設、診療所は10施設減少しており、気仙・釜石、久慈・二戸圏域では分娩取扱診療所がない状況である。

周産期医療圏	保健医療圏	H22.4.1 現在		H30.4.1 現在	
		病院	診療所	病院	診療所
盛岡	盛岡	3	12	3	8
宮古	宮古	1	2	1	2
岩手中部	岩手中部	2	3	2	3
胆江	胆江	0	5	0	3
両磐	両磐	2	3	1	2
気仙	気仙	1	0	1	0
釜石	釜石	1	1	1	0
久慈	久慈	1	1	1	0
二戸	二戸	1	1	1	0
計		12	28	11	18

(岩手県医療政策室調査)

4 分娩取扱件数

分娩取扱件数は約 1 割減少している。

周産期医療圏	保健医療圏	H21 年		H29 年	
		分娩取扱 件数	圏域別 出生数	分娩取扱 件数	圏域別 出生数
盛宮	盛宮	4,572	3,903	3,992	3,408
	古	670	604	502	476
岩手中部 胆江 両磐	岩手中部	1,633	1,791	1,708	1,482
	胆江	828	1,052	490	892
	両磐	1,338	931	1,018	691
気釜	気釜	629	409	469	340
	石	212	375	168	283
久二	久二	406	464	195	334
	慈戸	569	375	413	269
計		10,857	9,904	8,955	8,175

(岩手県医療政策室調査)